

市長発言要旨

令和8年度米沢市当初予算（案）について

私から、新年度に向け編成した予算案の概要について、御説明申し上げます。

市長就任からこれまでの2年間は、市民の皆様とお約束をした公約に掲げた主要施策の実行に注力してまいりました。3年目となる令和8年度は、市民の皆様や議員の皆様、そして市職員と足掛け2年をかけて議論してきた新しい市の将来像、市の総合計画「よねざわ しあわせビジョン 2035」の初年度となります。2年の経験を踏まえ、10年先をにらんでバージョンアップをしたものが令和8年度予算案となります。

この令和8年度予算案の名称は、「しあわせ循環 実現予算」といたしました。人件費や物件費は予想を超える速さで増加しており、極めて厳しい財政事情ですが、市民の皆様の生活に寄り添い、社会情勢の変化に合わせた新たな事業の創設、拡充を図りました。この予算の執行によって、市民お一人お一人の幸福度が高まる米沢を着実に実現する新年度になる、こうした意味を込めました。

令和8年度の一般会計予算総額は、464億7千万円であり、対前年度当初予算比で41億7千万円、8.2%の減となりますが、過去最高となった今年度（令和7年度）に次いで過去2番目に多い予算規模となりました。現政権の方は「責任ある積極財政」という言い方をしていますが、本市の場合は「責任ある賢い投資」であろうかと考えています。

次に、新年度における重点的な取組について御説明いたします。

一つ目は、「育み、学びたい！『ひと』プロジェクト」であります。

人口減少社会だからこそ人への投資を進めて、県内最高水準の子育て・教育環境の実現に取り組んでいきます。本市出身者や本市在住大学生を対象に、若者の定着、Uターンを促進するため、県が進めている奨学金返還支援において、本市独自の加算を新たに実施し、月額46,000円の実質返済不要の奨学金を実行します。本市に帰ってくること、就職は本市で行うことを条件にしています。

また、4月には、南成中学校と北成中学校が開校するとともに、学校給食センターが供用を開始します。また、子育て世代の経済的な負担を軽減し、安心して子育てができる環境を整えるため、引き続き、国に先駆けて、地元産の食材を使用した安全安心でおいしい給食を小中学校の全児童生徒に無償で提供するとともに、令和9年度の開校に向けた広井郷小学校の施設整備を着実に進めてまいります。予算額は、学校給食センター運営事業として中学校分の給食食材費を含めて3億8千19万円、小学校分の学校給食費無償化事業補助金などを含む学校給食費支援事業として2億2千331万円、小学校統合施設整備事業として、2億3千335万円を計上しております。

二つ目は、「稼ぎ、創り出したい！『なりわい』プロジェクト」で、産業構造の変化に対応した地域産業の基盤を整備し、本市の稼ぐ力と市民所得の向上を図る新たな仕組みの構築を目指して取り組みます。質の高い雇用の場を設け、市民の所得を引き上げるとともに、若者の定着につながる企業を誘致するため、新たに特別会計を設けて新産業団地の整備に向けた取組を本格的に実施します。また、本年秋

に開館を予定している米沢商工会議所の新会館内に、新たな産業振興の拠点として設置される「（仮称）米沢地域産業振興センター」の整備を支援し、産学官金連携による地域内外との人材交流、産業人材の育成・定着を図るとともに、産業技術総合研究所、山形大学と連携した「融合材料サステナブルプロセス ブリッジ・イノベーション・ラボラトリ」事業を開始し、ものづくり企業の技術開発と事業化を重層的に支援することで、産業の高付加価値化を推進してまいります。予算額は、新産業団地整備事業として1億5千457万円、産学官金連携による米沢イノベーション共創事業として8千583万円、米沢ものづくり高付加価値化推進事業として2千260万円を計上しております。

三つ目は、「住み続け、守りたい！『くらし』プロジェクト」で、市民の皆様が安全安心を実感し、地域に愛着を持てる環境を目指して取り組みます。4月には地域活動の拠点となる広幡及び塩井コミュニティセンターが開館するほか、地域医療の要である診療所開設支援の更なる強化として、対象診療科に新たに内科を加えるとともに、小児科に対する補助を従来の1千万円から500万円加算し、1千500万円に拡充します。みらいのすまい応援事業として、子育てする若者世帯を対象に県内最高水準となる新築住宅取得支援を実施し、併せて移住世帯には加算を行うことで、優良な住環境の整備と若者の定住・移住を促進します。予算額は、診療所開設支援補助金として1千500万円、みらいの住まい応援事業費補助金として2千万円を計上しております。

ただいま御説明申し上げた重点的な取組のほか、特別会計は、10会計の合計で約187億1千200万円、企業会計は、3会計の合計で約184億1千700万円を計上しており、この後、所管部長等が説明いたします。私からは以上となります。どうぞよろしくお願いいたします。

【発表事項】

①第5期米沢市観光振興計画（案）について

本市では、観光を取り巻く社会情勢の変化や、人口減少、事業者の廃業といった課題に対応しながら、持続可能なまちづくりを進めていくため、観光振興を重要な施策の一つとして位置付けております。観光による交流人口や関係人口の拡大は、地域の活性化にとどまらず、市民の皆さまの生活基盤の向上や、暮らしの豊かさにもつながるものと考えております。

こうした考えのもと、市民の「しあわせ」と観光振興との調和を図りながら、将来にわたって持続可能な観光地づくりを目指すため、新たに「第5期米沢市観光振興計画」の策定を現在進めております。目指す姿を「多彩な観光資源の魅力や本市ならではの価値が国内外に広まり、観光客がもっと居たくなる、また来たくなるまち」とし、数値目標も掲げ、計画案をまとめました。

このたび、広く市民の皆様から御意見を募集するため、パブリック・コメントを実施しているところです。意見の募集期間は、令和8年1月26日から、2月16日までの約3週間となっております。

計画案につきましては、市ホームページ、市役所本庁舎をはじめ、市内各コミュニティセンター、置賜総合文化センターなど複数の場所で閲覧いただけるようにしております。

多くの市民の皆さまから御意見をお寄せいただきたいと思います。

②第49回上杉雪灯籠まつりの開催について

今回で49回目※を迎える「上杉雪灯籠まつり」が、2月14日、15日の2日間、松が岬公園周辺を主会場に開催されます。「上杉雪灯籠まつり」は、今回も『平和』、『おもてなし』、『市民参加』の3つのコンセプトを掲げて開催いたします。

今年は、99団体の皆様に188基の雪灯籠を製作していただく予定となっております。ぜひ、雪灯籠に灯された幻想的な光が織りなす雰囲気を楽しんでいただきたいと思います。

また、今年は、米沢青年会議所による「スノーシアター」という新たな企画が開催されるほか、おもしろな観光大使である村上奈津実さんたち温泉むすめによるトークショーなども新たに開催されます。

このほか、例年どおり、鎮魂祭、キャンドルゾーン、愛のハートイルミネーション、「竹あかり×雪×祈り2026」、市内外や姉妹都市・友好都市等のテント物産展、各団体によるステージイベントなど、様々な催しが開催され、皆様をお迎えいたします。なお、会場周辺には駐車場がございませんので、御来場の際は必ずシャトルバスを御利用ください。

このほかにも様々な関連イベントが市内各地で開催されますので、期間中は、米沢の雪を最大限に生かした雪灯籠まつりをお楽しみいただきたいと思います。